

木材販路開拓のための

海外市場情報

2006年5月号(No.2)

目次

1. 経済全般.....	1
1.1 中国の中部地区振興戦略が本格的に始動.....	1
1.2 アジア開銀 45 億米ドルを中国の新農村建設に貸与.....	2
1.3 アメリカ企業の中国現地法人は内販中心.....	2
2. 木材市況.....	3
2.1 4月上海市木材市況:北米材、ロシア材が好調.....	3
2.2 4月広東省木材市況:原木市場の低迷続く、MDF 販売が繁忙期.....	3
3. 木材価格.....	5
3.1 上海木材価格.....	5
3.2 広州木材価格.....	6
4. 業界動向.....	7
4.1 投機的外資の不動産市場への流入監視を強化.....	7
4.2 福建省莆田市:中国最大の木材加工団地の建設をスタート.....	7
4.3 アジア最大の輸入木材加工団地の建設が海南省で始動.....	7
4.4 広東省中山市:木材市場をオープン.....	8
4.5 中国政府:無垢フローリングと割り箸に消費税を課税.....	8
4.6 ニュージーランド(NZ)家具企業の多くは中国へ生産移転.....	9
4.7 木材関係展示会情報.....	9
5. 業界統計.....	13
5.1 木材加工製造業の経営状況(2006年3月).....	13
5.2 家具製造業の経営状況(2006年3月).....	14
5.3 木質パネル生産量.....	15
5.4 原木輸出入量.....	15
6. 建設統計.....	17
7. 関連統計.....	20

1. 経済全般

1.1 中国の中部地区振興戦略が本格的に始動

経済発展を進めるため、中国政府は東部沿海地区の先行発展、中西部開発、東北地区振興の戦略を次々と打ち出してきた。中西部開発は、西部を対象とする「西部大開発」の形で着々と進められてきたが、中部地区振興戦略は脚光を浴びることがなかった。このため、3月27日に開かれた中国共産党中央政治局会議では、中部地区振興戦略を、各地区の協調型発展総合戦略を達成するための重要な戦略として位置づけ、中部地区の発展を促進すると表明した。人民日報海外版が伝えた。

中部地区とは山西、河南、湖北、湖南、安徽、江西の6省(図1)を指しており、2005年の同地区のGDPは、全国の19.9%、面積は10.7%、人口は28.1%を占めている。同地区は中国の東西南北の十字路口に位置しており、中国全体の発展において「承東西進、聯南貫北」(東を受け継いで西に進み、南北を結びつける)という役割が大きい。今後、沿海の経済力、資金力を西へ、内陸部の資源と労働力を沿海へ、というモノとヒトの交流の十字路口としての機能が大きく期待できる同地区は、域内の6省都(太原、合肥、南昌、鄭州、長沙、武漢)を中心に都市化を急ピッチで進めており、沿海と内陸の格差是正、各地区の協調型発展の実現という目標を掲げた政府の方針に基づき、内需型経済を拡大していく予定である。



図1 中国の中部地区の地理的位置と範囲

1.2 アジア開銀 45 億米ドルを中国の新農村建設に貸与

3 月 20 日の人民日報海外版によると、3 月 19 日に北京で開催された「中国発展シンポジウム」に出席したアジア開発銀行総裁の黒田東彦氏は、中国政府の新農村発展戦略を全力で支持し、向こう 3 年間に農村、農業関係の発展プロジェクトを中心に 45 億米ドルの借款を供与すると、記者に対して表明した。さらに、同氏は中国の農村発展について次のように述べている。

- ・ 耕地や水資源の不足のため、農業発展において、中国政府は農村インフラの整備・改善を重点とし、農業や畜産の経営の多様化を図り、環境保護型農業を目指して発展を進めるとともに、農村金融の改革を加速化し、農家を対象とする融資ルートを広めることを心がける必要がある。
- ・ 中国政府は、長期にわたり農村部の膨大な余剰労働力の雇用創出という難題に直面している。この問題を解決するためには、中小企業と民間企業の発展を促進しなければならない。現在、アジア開発銀行は広東省で農民出身の工場労働者を対象とする職業技能訓練プロジェクトを計画している。今後、このプロジェクトを中国の多くの地域で展開、普及させていきたい。
- ・ これまで、アジア開発銀行は中国の高速道路などのインフラ整備に重点的に投資してきたが、今後、農村部のインフラ整備、農業産業化、農村金融改革、貧困の撲滅、職業技能訓練、農村衛生改革、環境保護、省エネルギーなどの分野を重点的に支援したい。

1.3 アメリカ企業の中国現地法人は内販中心

アメリカ企業の中国現地法人を会員とする商工会議所が、2005 年ビジネス動向調査の結果をまとめた。この調査により次のことが明らかになった。

- ・ 中国国民の所得、購買力の向上を背景に、現地販売を中心に進出している企業の割合は、1999 年の 60% から 83% へと大きく増加した。
- ・ 進出形態別にみると、全額出資企業は 1999 年の 33% から 60% に大きく上昇した。一方、地元との合弁企業は 27% に低下した。
- ・ 将来の海外投資先として中国を挙げた企業は、調査企業全体の 79% を占めている。

2. 木材市況

2.1 4月上海市木材市況：北米材、ロシア材が好調

製材品：成約は前月より多くなり、市場は活況を呈している。木材全体の供給がタイトな傾向をたどっている中、各種の木材の取引にはそれぞれ特徴がみられた。北米材では、買い付け意欲が強いものの、サプライヤーの手持在庫、供給も多いため、卸売価格は横ばいで推移している。ミャンマー、中国両国政府が共同で違法木材取引の監視を強化しており、ミャンマー材の通関がほとんどできないため、月前半は前月に続き、価格が高騰した。しかし、ミャンマー材の供給が期待できないとみる加工メーカーの一部は、代替材としてロシア材の利用を始めている。この影響を受け、月後半の価格は小幅ながら下落した。KDのシルバーチェリー板材の今月の価格推移をみると、前半には3月の5,000元/m³より500元高の5,500元/m³となり、後半には200元下げの5,300元/m³となっている。ロシア材は市場への供給が多いが、前述のミャンマー材需要の一部がロシア材へシフトしている影響で、好調な販売を維持しており、価格は強含みで推移している。アフリカ材全体の価格は横ばいで、「科技木」と呼ばれる人造木材(バラツキの大きな原木や角材をスライスした単板をコンピューターによる組み合わせ、染色、接着、圧縮などの工程によって加工した木材)の代替利用で、オクメの価格がやや下落した。国産材では、ゴムノキの出入りは増加、価格は横ばい。

フローリング：無垢フローリングの販売に消費税5%を課す政策が今月から実施され、フローリング業界に大きな衝撃を与えている。無垢フローリングの取引は前年同期と比べて大幅に増加しているが、先月末からの過熱な買いは落ち着き始めた。フローリング卸売大手の福人市場からみると、月後半の入荷量が前半より30%増、出荷量は48%減となっている。フローリング基材の販売価格が値上がり始めたが、これは主にインドネシア、ミャンマー、南米からの基材の仕入れが不足していることに起因しており、5%の消費税が基材の価格にどの程度の影響を与えるか、しばらく様子を見る必要があると考えられる。

2.2 4月広東省木材市況：原木市場の低迷続く、MDF販売が繁忙期

原木：3月に続き、卸売大手の広東魚珠市場における原木の出入りが不調で、原木市況はまだ低迷状態にある。この原因について、市場関係者は次のように指摘している。

- ・ 広州、深圳を中心とする珠江デルタにおける不動産市場が過熱しているものの、新設住宅の実際の取引量が少ないため、内装材などの需要は低迷し、原木市況の不調につながっている。
- ・ 家具販売は閑散期にあることに加え、従業員の不足が深刻で、多くの家具メーカーは低い稼働率に悩まされている。

- ・ ミャンマー材の違法伐採に対する監視の強化、ソロモンの社会情勢不安の影響、原木生産国の雨季の到来などの原因により、原木の輸入は一段と困難となっている。
- ・ 魚珠市場の土場と埠頭の再整備工事はまだ完成しておらず、原木の出入りや取引に悪影響を与えている。

製材品：取引量は小幅で増加している。流通量が多く、取引価格が比較的安いタモ、ナラ、シナノキ、マツなどの国産東北材の販売が好調である。また、ミャンマー材の通関がストップされる前に雲南省に入った原木は加工後、広東省内に大量に流れた。ミャンマー材の製材品の販売価格は高水準にあるが、需要があるため、買い付けは多い。「科技木」の商いも好況を呈している。

木質パネル：MDF の取引が活発な一方、合板、パーティクルボードの市況は低迷。魚珠市場をみると、先月と比較して入荷量、出荷量はそれぞれ 89%、79.5%と大幅増加している。市場関係者は、MDF 市場は例年より早く繁忙期に入っているとみている。しかし、市場に流通している木質パネルの含有ホルムアルデヒドが国家の認定基準量を大幅に超えている問題が月末に報道されたため、この報道を受けて、消費者は高品質の木質パネルに目を向け始めた。MDF を含め木質パネルの市況は、この報道によるダメージを受けそうだ。

3. 木材価格

3.1 上海木材価格

表 3-1 上海福人木材市場の価格(4月)

樹種(和名(学名)/中国名)	等級、サイズ	単価(元/m ³)
タモ(<i>Fraxinus mandshurica</i> Rupr.) / 水曲柳	板材、KD、ロシア産	3,500-4,000
ナラ(<i>Quercus</i> spp.) / 柞木	板材、KD、ロシア産	3,800-4,500
モンゴリマツ (<i>Pinus Sylvestris</i> L. var. <i>mongolica</i> Litv.) /樟子松	板材、ロシア産	1,800-2,000
ラジアータパイン(<i>Pinus radiata</i>) / 輻射松	板材、節あり	2,400-2,700
	板材、節なし	4,000-4,200
シルバーチェリー (<i>Betula alnoides</i>) / 西南樺	板材、KD、ミャンマー産	5,000-5,400
イタヤカエデ(<i>Acer mono Maxim.</i>) / 五角楓	板材、A級、ミャンマー産	7,000-7,500
ハード・メイプル(<i>Aceraceae</i> spp.) / 楓木	板材、30mm、FAS、北米材	11,600-12,600
	板材、60mm、FAS、北米材	13,200-13,800
アメリカンチェリー (<i>Prunus serotina</i> , Ehrh.) / 櫻桃木	板材、30mm、FAS、北米材	12,500-13,000
	板材、60mm、FAS、北米材	15,800-16,200
ブラックウォルナット(<i>Juglans nigra</i>) / 黒胡桃	板材、30mm、FAS、北米材	11,100-11,500
	板材、60mm、FAS、北米材	15,300-15,500
レッドオーク(<i>Quercus</i> spp.) / 紅欅	板材、30mm、普通1級、北米材	4,200-4,500
	板材、30mm、FAS、北米材	8,000-8,400
	板材、60mm、FAS、北米材	10,500-11,000
ホワイトオーク(<i>Quercus</i> spp.) / 白欅	板材、30mm、FAS、北米材	8,000-8,200
	板材、60mm、FAS、北米材	11,500-12,000
オクメ(<i>Aucoumea klaineana</i>) / 奥古曼	板材、60mm、B級、アフリカ材	3,600-4,200
	板材、60mm、A級、アフリカ材	4,200-4,350
ゴムノキ(<i>Ficus elastica</i>) / 橡胶木	板材、A級、海南産	1,600-2,400
	板材、A級、雲南産	2,100-2,350
	板材、マレーシア産	2,800-3,350

出所: 上海福人木材市場情報

3.2 広州木材価格

表 3-2 広東魚珠国際木材市場の価格(4月)

樹種(和名(学名)/中国名)	等級、サイズ	単価(元/m ³)
シナノキ(<i>Tiliajaponica</i> (Miq.)Simonkai)/ 椴木	原木、特級、2.2-4m	2,250-2,750
タモ(<i>Fraxinusmandshurica</i> Rupr.)/ 水曲柳	原木、特級、2.2-4m	2,400-2,700
カプール(<i>Dryobalanopsspp.</i>)/ 山樟	原木、A級、50<	1,800-2,050
	原木、1級、>50	2,150-2,250
シルバーチェリー (<i>Betulaalnoides</i>)/ 西南樺	角材、A級、乱尺	3,400-3,600
イタヤカエデ(<i>AcermonoMaxim.</i>)/ 五角楓	角材、特級、乱尺	4,300-5,000
	角材、1級、乱尺	2,800-3,100
	角材、普通材、乱尺	2,000-2,250
ヘムロック(<i>Tsugaheterophylla</i> Sarg.)/ 鉄杉	角材、1級、乱尺	1,900-2,300
シナノキ(<i>Tiliajaponica</i> (Miq.)Simonkai)/ 椴木	角材、普通材、乱尺	1,550-1,700
	角材、特級、乱尺	2,200-3,300
モンゴリマツ (<i>PinusSylvestris</i> L. var. <i>mongolica</i> Litv.) /樟子松	角材、節あり、2.5-10cm×2-4m	1,580-1,760
	角材、節なし、国産	2,150-2,250
ベニマツ(<i>Pinuskoraiensis</i> Sieb,etZucc)/ 紅松	角材、普通材、2.5-6cm×2-4m	1,750-2,050
スプルース (<i>Piceaglauca</i>)/ 白松	角材、普通材、2.5-6cm×2-4m	1,650-1,750

出所: 広東林産品市場情報

4. 業界動向

4.1 投機的外資の不動産市場への流入監視を強化

中国の国家外貨管理局が4月28日公表した「2005年中国国際収支報告」により、不動産市場における海外のホットマネーの流入動向が重点監視対象となっていることが明らかにされた。

この報告によると、住宅価格の急上昇及び人民元切り上げへの期待から、不動産購入目的の海外のホットマネーが上海、浙江などの地域に流れて込んでおり、投機目的で高級住宅、マンションなどの優良物件の売買を繰り返している。その結果、流入地域の不動産ブームを引き起こし、住宅価格を吊り上げ、不動産価格の激しい変動が生じていると指摘している。不動産市況が再び過熱傾向になりつつある中で、国家外貨管理局は不動産市場における投機的な外資の監視を強化することとしている。

4.2 福建省莆田市：中国最大の木材加工団地の建設をスタート

莆田(プーティエン)市政府、福建省林業庁、対外経済貿易庁、出入国検査検疫局共催の「中国・莆田秀屿(シュウイー)国家レベル木材加工モデル区投資誘致並びに莆田木材協会成立大会」が2月7日に開幕された。会期中、莆田市政府常務副市長の李徳金氏により、全国最大の木材加工、輸出入、物流団地を目指した莆田秀屿国家レベル木材加工モデル区の建設計画が披露された。この建設計画は、2010年までに、広さ1,333haにのぼる木材産業パークを11億元(約165億円、1元=15円で換算)で建設するというもの。1期目の建設目標では、1.8億元(約27億円)を投入して333haの土地を開発するという。当計画は次のような背景下で策定された。

- ・ 中国・莆田輸入木材検疫処理区は、1月11日に本格的に運営を開始した。現在、当検疫処理施設の輸入原木の年間取扱い能力は300万m³で、さらに、5万トン級の木材専用埠頭の建設がまもなくスタートするという。なお、この検疫処理区は国家品質検査検疫総局により「アラスカ産原木の着岸後の唯一の燻蒸処理区」と指定されている¹。
- ・ 全国各地で木材の加工・販売業に従事している莆田市出身者は16万人以上、年間販売額500万元(約5.7億円)超の莆田系木材加工・流通企業は750社以上にのぼり、巨大な木材販売網を有している。

4.3 アジア最大の輸入木材加工団地の建設が海南省で始動

大連振邦グループが7.7億元(約115.5億円)を投資して、アジア最大の輸入木材加工団地を海南省澄邁(チンマー)県に建設する計画が2月に動き出した。この加工団地向けにオーストラリアからの輸入材1.4万m³が、2月22日に初めて、省都の海口

¹福建省検疫管理当局では他の国々からの原木の着岸燻蒸処理の可能性について検討中。

市の秀英港に入港された。

加工団地の建設は三期に分けて進める予定。1 期目の原木の年間加工能力は 40 万 m³を目標とし、2 期目は 80 万 m³/年、3 期目は 120 万 m³/年まで拡充する目標を掲げている。当該加工団地の建設は、海南省の「十一・五」計画(第十一次五年計画)で重点プロジェクトのひとつとされている。

4.4 広東省中山市:木材市場をオープン

広東省の4大家具生産団地のひとつである中山市では、家具生産に原料を提供する木材卸売市場がこれまでなかったため、他の原材料産地や市場から年間 100 億元(1,500 億円)超の原材料を購入している。この大きな商機を狙って、湯始置業会社が2005年9月から建華木材卸売市場の建設に着手した。敷地 12 万 m²、200 店舗が入る卸売市場が今年4月にオープンした。

4.5 中国政府:無垢フローリングと割り箸に消費税を課税

中国の財政部、国家税務総局は3月21日付けで「中国消費税税目税率調整細則」を公表した。この調整細則によると、4月1日から、新たな税目として無垢フローリングと割り箸にそれぞれ税率5%の消費税が課せられることとなる。

中国の消費税は特定の商品に対して課せられる税で、これまでは主に贅沢品を課税対象としてきた。今回無垢フローリングと割り箸に5%の消費税をかけることで、税收政策を通して環境保護、省資源の経済成長、持続可能な発展への政府の決意を表明しているとみられる。

統計によると、2004年の中国の無垢フローリング生産量は8,500万m²にのぼる。また、割り箸の年間販売量は約1,600万箱(5,000膳/箱)で、うち国内販売が1,000万箱、輸出が600万箱となっている。割り箸の功罪を巡る論争は、長期にわたって行われてきた。環境保護側は「割り箸生産が環境破壊につながっている」と主張しているのに対し、林業管理側は次の調査結果をもって、「割り箸の生産・輸出は資源の無駄使いではなく、資源の有効利用、雇用、経済にも寄与している」としている。

- ・ 割り箸生産に消費される木材は年間 130 万 m³に相当するが、これは中国全体の木材消費量のわずか 0.5～1%にすぎない。
- ・ 輸出向けの割り箸の生産には、原料として主にシラカバを利用しているが、国内販売の割り箸の原料には、早成木のポプラ、孟宗竹、廃材などが多く使われている。
- ・ 割り箸生産の従事者は 10 万人にのぼり、ひとつの産業として成り立っている。

今回の無垢フローリングと割り箸に対する課税の影響については、意見が分かれている。一部の関係者は、5%の課税による製品価格の上昇があろうが、影響はそれほど大きくないだろうとみている。

4.6 ニューージーランド(NZ)家具企業の多くは中国へ生産移転

米ドルに対するNZドル高の影響を受け、ラジアータパインの生産コストや輸出価格が上昇しているため、NZ家具メーカーの多くは、コストアップ分を吸収し切れず、中国への生産移転に走った。

中国の林業ネットは、生産工程の大半を生産コストの安い中国に移し、自国ではデザイン、仕上げ加工、販売に専念するNZ家具メーカーが増えていると伝えた。NZのWaimate地区にある家具会社の経営者、Robert Grice氏は、同品質の家具を製造する場合、NZ国内製造と比べて中国生産のコストは50%安くなっており、現在、国内の主な家具ブランドの8割が中国を含め海外に移転、生産されていると指摘している。

4.7 木材関係展示会情報

(1) 第17回中国ハルピン国際経済貿易商談会

開催地：ハルピン国際会議展示スポーツセンター

開催日：6月15-19日

主催者：商務部、国務院東北振興室、中国国際貿易促進委員会、黒龍江省政府

(2) 第8回中国国際林業及び木工機械展覧会

開催地：上海新国際博覧センター

開催日：6月27-30日

主催者：中国林産工業協会、中国林業機械協会ほか

(3) 第8回中国(広州)国際建築装飾博覧会

開催地：広州琶洲国際会議展示センター(広東省広州市)

開催日：7月6-9日

主催者：中国対外貿易センター、中国建築装飾協会

その他：

- ・ 許可機関：中国商務部
- ・ 第7回の展示会では、出展企業1,867社、来場者64,541人の実績を上げたが、今度の第8回では、展示面積135,000m²(7,000コマ)、出展企業2,500社、来場者15万人との見込み

(4) 第2回中国黒龍江木業博覧会

開催地：黒龍江省牡丹江市

開催日：7月15-18日

主催者： 国家林業局、黒龍江省政府

その他：

- ・ 展示面積 30,000m²
- ・ 国際展示エリアを設置する予定

(5) 第 9 回中国西部(新疆・華凌)国際建築装飾博覧会

開催地： 新疆華凌国際博覧センター(新疆ウルムチ市)

開催日： 8月 8-11 日

主催者： ウルムチ市政府、新疆自治区政府経済技術協力室、建設庁ほか

(6) 第 16 回国際家具(東莞)展覧会

開催地： 広東現代国際展覧センター

開催日： 8月 17-21 日

主催者： 東莞市政府

(7) 第 17 回中国(上海)国際建材・インテリア展覧会

開催地： 上海新国際博覧センター

開催日： 8月 18-21 日

主催者： 上海市建築材料協会、万博グループ上海現代国際展覧有限公司

その他：

- ・ 2006 年中国(上海)国際ドア・窓展覧会、第 8 回上海国際別荘展示会などを同期開催
- ・ 上海万博グループの支持を受けて、「万博と建材商機」シンポジウムの開催予定

(8) 第 5 回中国国際住宅産業博覧会

開催地： 北京展覧館

開催日： 8月 24-27 日

主催者： 建設部

(9) 第 6 回中国国際インテリア博覧会並びに第 6 回中国室内設計展

開催地： 中国国際貿易センター(北京)

開催日： 8月 25-27 日

主催者： 中国室内装飾協会

(10) 第 8 回中国国際建築材料及び住宅産業博覧会

開催地： 大連世界博覧プラザ

開催日： 9 月 1-4 日

主催者： 中国北方工業公司、中国建築裝飾協会、大連市政府

(11) 第 2 回グリーン建材裝飾産業国際博覧会

開催地： 済南国際会議展示センター(山東省済南市)

開催日： 9 月 7-9 日

主催者： 山東省政府

その他：

- ・ 第 1 回には、802 社が出展
- ・ 会期中に山東省生態建設シンポジウムを開催

(12) 第 12 回中国国際家具展覧会

開催地： 上海新国際博覧センター(浦東)、上海国際展覧センター(浦西)

開催日： 9 月 11-14 日

主催者： 中国家具協会

(13) 2006 第 6 回上海国際ドア展覧会

開催地： 上海光大会議展示センター

開催日： 9 月 15-17 日

主催者： 中国国際貿易促進委員会建設業部会、中国国際商会建設業商会

(14) 2006 アジア国際建築裝飾材料展覧会

開催地： 中国国際展覧センター(北京)

開催日： 9 月 19-22 日

主催者： 中国建築学会、中国建築材料工業協会、国家建築材料展覧センター

(15) 2006 中国南京床材料及び舗装技術展覧会

開催地： 南京国際展覧センター

開催日： 9 月 19-21 日

主催者： 江蘇省政府、南京市政府

(16) 中国国際林業産業博覧会

開催地： 国家農業展覧館(北京)

開催日： 11 月 9 ~ 11 日

主催者： 国家林業局ほか

(17) 第 14 回中国 (北京) 国際建築装飾及び材料博覧会

開催地： 中国国際展覽センター (北京市)

開催日： 2007 年 3 月 10-13 日

主催者： 中国国際貿易促進委員会、中国建築装飾協会ほか

5. 業界統計

5.1 木材加工製造業の経営状況(2006年3月)

表 5-1 主要省別木材加工製造業の規模

区分	全国	上海市	北京市	江蘇省	浙江省	山東省	広東省
法人数	5,527	156	32	751	674	726	382
割合(%)	100	2.82	0.58	13.59	12.19	13.14	6.91
従業員数	795,035	19,913	3,225	114,202	74,135	93,226	67,879
割合(%)	100	2.50	0.41	14.36	9.32	11.73	8.54
資産額(億元)	1,313.67	58.97	20.34	184.05	157.33	127.60	149.31
割合(%)	100	4.49	1.55	14.01	11.98	9.71	11.37

注：統計対象はすべての国有企業および年間売上高 500 万元以上の非国有企業

表 5-2 主要省別木材加工製造業の経営状況

金額:億元

区分	全国	上海市	北京市	江蘇省	浙江省	山東省	広東省
製品売上高(積算)	403.90	15.43	2.33	70.88	49.56	65.09	39.37
割合(%)	100	3.82	0.58	17.55	12.27	16.12	9.75
製品売上原価(積算)	354.33	13.56	2.16	63.41	44.53	58.39	34.26
割合(%)	100	3.83	0.61	17.90	12.57	16.48	9.67
製品販売費用(積算)	11.46	...	0.21	2.36	0.98	1.58	0.90
割合(%)	100		1.83	20.59	8.55	13.79	7.85
利益(積算)	13.94	0.40	-0.18	1.76	1.70	3.84	1.23
割合(%)	100	2.87	-1.29	12.63	12.20	27.55	8.82
コスト費用利益率(%)	3.63	2.77	-6.96	2.58	3.55	6.22	3.34
赤字会社数	963	47	18	50	117	45	113
割合(%)	100	4.88	1.87	5.19	12.15	4.67	11.73
赤字額(積算)	4.41	0.26	0.19	0.40	0.33	0.20	0.49
割合(%)	100	5.90	4.31	9.07	7.48	4.54	11.11
負債	732.29	35.44	10.65	106.19	88.63	71.83	85.91
割合(%)	100	4.84	1.45	14.50	12.10	9.81	11.73

注：積算は1月から当該月までの積み上げ コスト費用利益率 = 利益総額 ÷ コスト総額 × 100

5.2 家具製造業の経営状況(2006年3月)

表 5-3 主要省別家具製造業の規模

区分	全国	上海市	北京市	江蘇省	浙江省	山東省	広東省
法人数	3,118	228	99	161	467	351	802
割合(%)	100	7.31	3.17	5.16	14.97	11.25	25.72
従業員数	727,379	43,937	17,574	41,645	106,206	60,593	254,713
割合(%)	100	6.04	2.42	5.73	14.60	8.33	35.02
資産(億元)	1,066.40	97.31	31.76	114.63	181.88	86.69	268.67
割合(%)	100	9.13	2.98	10.75	17.06	8.13	25.19

注：統計対象はすべての国有企業および年間売上高 500 万元以上の非国有企業

表 5-4 主要省別家具製造業の経営状況

金額:億元

区分	全国	上海市	北京市	江蘇省	浙江省	山東省	広東省
製品売上高(積算)	365.38	36.60	6.36	25.51	60.26	35.25	106.51
割合(%)	100	10.02	1.74	6.98	16.49	9.65	29.15
製品売上原価(積算)	309.73	31.29	5.10	22.38	52.46	30.65	89.88
割合(%)	100	10.10	1.65	7.22	16.94	9.90	29.02
製品販売費用(積算)	12.50	0.02	0.70	0.70	2.20	0.81	3.49
割合(%)	100	0.18	5.58	5.59	17.59	6.45	27.95
利益(積算)	14.83	2.38	0.05	0.92	2.35	2.39	1.46
割合(%)	100	16.08	0.32	6.18	15.87	16.11	9.83
コスト費用利益率(%)	4.35	7.14	0.74	3.76	4.08	7.28	1.48
赤字会社数	743	75	49	46	101	43	234
割合(%)	100	10.09	6.59	6.19	13.59	5.79	31.49
赤字額(積算)	2.62	0.20	0.18	0.27	0.29	0.07	0.90
割合(%)	100	7.51	6.79	10.41	11.24	2.86	34.40
負債	610.09	56.20	20.02	58.04	113.39	51.32	165.64
割合(%)	100	9.21	3.28	9.51	18.59	8.41	27.15

注：積算は1月から当該月までの積み上げ コスト費用利益率 = 利益総額 ÷ コスト総額 × 100

5.3 木質パネル生産量

表 5-5 木質パネル生産量

月	2006.1	2	3	4
万 m ³	344.3	439.1	527.6	524.5
前年比(%)	24.8	37.1	18.0	10.1

5.4 原木輸出入量

表 5-6 樹種別原木輸入量

樹種	3月		1-3月	
	m ³	万 USD	m ³	万 USD
原木	2,901,880	32,284.64	6,883,375	75,287.38
針葉樹原木	1,725,078	12,849.81	4,099,209	30,420.01
ペニマツ、モンボリマツ	943,785	7,159.09	2,237,961	16,556.72
スプルース	321,640	2,391.68	787,120	6,114.88
ラジアータパイン	43,703	453.83	105,195	1,041.26
カラマツ	377,203	2,521.81	874,187	5,864.62
その他	38,747	323.39	94,746	842.54
広葉樹原木	1,176,802	19,434.40	2,784,126	44,867.36
熱帯産原木	322,678	7,071.11	688,622	15,009.82
ラワン	11,628	181.83	28,376	453.44
チーク	12,039	510.02	26,292	1,103.81
オクメ	158,588	3,647.27	287,979	6,751.2
カプール	8,135	136.22	26,780	448.73
その他	132,286	2,595.77	319,235	6,252.65
その他原木	854,124	12,363.73	2,095,504	29,857.54
オーク	96,341	1,893.75	208,764	4,232.75
ビーチ	22,353	384.82	51,798	89,695
紅木	8,323	394.45	17,714	857.58
タモ	50,857	854.38	119,646	2,015.99
北米広葉樹	12,057	769.74	25,453	1,549.88
その他	664,193	8,066.59	1,672,129	20,304.38

出所：中国税関統計

表 5-7 樹種別原木輸出量

樹種	3 月		1-3 月	
	m ³	万 USD	m ³	万 USD
原木	911	28.21	2,402	77.05
針葉樹原木	0	0	0	0
広葉樹原木	911	28.21	2,402	77.05
熱帯産原木	0	0	0	0
その他原木	911	28.21	2,402	77.05
オーク	276	7.9	559	18.47
タモ	461	16.12	1,669	54.39
その他	174	4.19	174	4.19

出所：中国税関統計

6. 建設統計

表 6-1 固定資産投資額と不動産開発投資額(全国)

月	固定資産投資(A)		不動産開発投資(B)		B/A (%)
	億元	前年比(%)	億元	前年比(%)	
2006.1	-		-		
2	5,294.1	26.6	1,436.4	19.7	27.1
3	11,608.4	29.8	2,792.7	20.2	24.1
4	18,005.7	29.6	4,130.9	21.3	22.9

注： 表中のデータは1月から当該月までの積み上げ

統計対象は鎮以上の都市部における50万元以上の投資

表 6-2 主要省別固定資産投資額

月	区分	上海市	北京市	江蘇省	浙江省	山東省	広東省
2006.1	億元 前年比(%)	-	-	-	-	-	-
2	億元 前年比(%)	358.08 15.2	200.22 42.2	797.62 24.6	450.09 6.6	489.21 34.5	550.09 20.3
3	億元 前年比(%)	637.77 13.4	356.54 35.8	1,487.93 26.9	848.50 11.5	1,302.08 37.7	999.83 19.5
4	億元 前年比(%)	944.14 5.5	576.82 33.4	2,008.19 26.5	1,235.73 14.1	1,822.72 38.7	1,485.02 21.0

注： 表中のデータは1月から当該月までの積み上げ

統計対象は鎮以上の都市部における50万元以上の投資

表 6-3 投資主体別固定資産投資額(全国)

月	国内投資(個人投資を除く)(C)			香港、マカオ、台湾系企業(D)		
	億元	前年比(%)	C/A(%)	億元	前年比(%)	D/A(%)
2006.1	-			-		
2	4,495.06	27.3	84.91	308.49	6.7	5.83
3	10,032.39	31.2	86.42	623.46	14.3	5.37
4	15,702.49	31.2	87.21	937.31	17.4	5.21

月	外資企業 (E)			個人 (F)		
	億元	前年比(%)	E/A(%)	億元	前年比(%)	F/A(%)
2006.1	-			-		
2	476.30	33.2	9.00	14.26	170.1	0.27
3	908.46	23.7	7.83	44.09	178.9	0.38
4	1,290.78	17.9	7.17	75.08	211.8	0.42

注： 表中のデータは1月から当該月までの積み上げ

統計対象は鎮以上の都市部における50万元以上の投資

表 6-4 用途別不動産投資額(全国)

月	住宅 (G)			オフィスビル (H)		
	億元	前年比(%)	G/B(%)	億元	前年比(%)	H/B(%)
2006.1	-			-		
2	983.73	22.5	68.49	70.85	6.6	4.93
3	1,887.54	23.1	67.59	120.74	1.2	4.32
4	2,835.33	25.6	68.64	183.35	5.5	4.44

月	商業用建築物 (J)			その他 (K)		
	億元	前年比(%)	J/B(%)	億元	前年比(%)	K/B(%)
2006.1	-			-		
2	173.8	25.5	12.10	208.00	8.5	14.48
3	341.2	20.9	12.22	443.23	13.9	15.87
4	506.7	21.3	12.27	605.57	8.8	14.66

注： 表中のデータは1月から当該月までの積み上げ

統計対象は鎮以上の都市部における50万元以上の投資

表 6-5 不動産開発面積(全国)

月	年内土地購入面積		開発済土地面積	
	万 m ²	前年比(%)	万 m ²	前年比(%)
2006.1	-		-	
2	3,460.94	-5.1	2,083.13	53.3
3	6,685.12	-9.3	5,284.13	33.2

注： 表中のデータは1月から当該月までの積み上げ

表 6-6 販売用建築物の着工・完工面積(全国)

月	着工面積		新規着工面積		完工面積	
	万 m ²	前年比(%)	万 m ²	前年比(%)	万 m ²	前年比(%)
2006.1	-		-		-	
2	80,259.71	25.7	9,617.24	283	3,368.36	44.3
3	103,062.07	23.3	17,215.92	22.1	5,657.16	35.9

注： 表中のデータは1月から当該月までの積み上げ

表 6-7 販売用建築物の販売面積と販売額(全国)

月	販売面積		販売額	
	万 m ²	前年比(%)	億元	前年比(%)
2006.1	-		-	
2	5,343.89	7.8	1,881.93	14.7
3	9,458.71	10.2	3,192.70	13.4

注： 表中のデータは1月から当該月までの積み上げ 建売りと予約販売を含む

7. 関連統計

表 7-1 GDP と 1 人当たり収入(全国)

月	GDP		1 人当たり収入(元)	
	億元	前年比(%)	都市部 1 人当たり可処分所得	農村部 1 人当たり純収入
2005.3	37,957.4	9.9	2,937.8	967.0
6	79,981.9	10.0	5,374.0	1,586.0
9	124,784.7	9.9	7,901.7	2,449.9
12	182,321.0	9.9	10,493.0	3,915.5
2006.3	43,313.0	10.2	3,293.0	1,094.0

注： 表中のデータは 1 月から当該月までの積み上げ 速報値

表 7-2 国内消費と価格指数

月	消費品小売額		価格指数(前年同月=100)			
	億元	前年比(%)	全国居民消費価格指数	36 主要都市居民消費価格指数	生産財価格指数	木材・紙パルプ購入価格指数
2006.1	6,641.6	15.5	101.9	102	99.0	102.5
2	6,001.9	9.4	100.9	101	99.2	101.8
3	5,796.7	13.5	100.8	101	98.4	102.5
4	5,774.6	13.6	101.2	101		

表 7-3 主要省別居民消費価格指数

(前年同月 = 100)

月	上海市	北京市	江蘇省	浙江省	山東省	広東省
2006.1	102.1	101.4	102.5	102.3	101.8	102.2
2	100.8	100.5	101.2	100.8	100.7	100.8
3	100.6	101.1	100.9	100.5	100.7	100.8
4	100.8	100.9	102.5	100.8	101.1	101.6

表 7-4 輸出入額

月	輸出入総額		輸出額		輸入額	
	億 USD	前年比(%)	億 USD	前年比(%)	億 USD	前年比(%)
2006.1	1,204.86	26.8	649.89	28.1	554.97	25.4
2	1,057.92	25.7	541.08	22.2	516.84	29.5
3	1,449.03	24.9	780.46	28.3	668.57	21.1